

2021年8月5日

報道機関各位

株式会社TAKESUMI

経営企画部 TEL: 03-6228-1389

BS フジテレビの環境番組「知りたい！SDGs」に 竹炭アートクリエイター南真紀出演のお知らせ！

この度、「竹害」という社会的課題の解決を目指して竹炭インテリア事業を行う株式会社TAKESUMI（本社：東京都新宿区、代表取締役：小松 裕介、南 真紀）のアートクリエイター南 真紀が、2021年8月5日(木) 22:55～23:00、BS フジテレビの環境番組「知りたい！SDGs」に出演いたします。

今回、ECサイト「飾り竹炭」（URL：<http://kazari-takesumi.com>）において発売する贈答用の「祝い竹炭」、おしゃれな竹炭インテリア「飾り竹炭」を取り上げていただきます。

本商品の特長には、①消臭、電磁波の吸着や湿度調整など機能性があること、②機能性あるインテリアとして、長期間にわたり、お楽しみいただけること、③水やりが不要であること、④竹炭は日本の文化のため、日本の竹炭を使用していること、⑤森林保護に貢献できること等があります。

竹炭は日本の優れた知恵と文化です。生命力の強い竹林は、森林を侵食するため、森林を保護するためには日々成長する竹を伐採する必要があります。その伐採された竹を焼いて竹炭は作られます。竹炭は、土壌改良、水環境や汚染土壌の浄化、住宅の床下湿度調整、消臭や電磁波の吸着などに利用されており、古くから縁起物とされています。

今後も当社では、多くのお客様に、竹炭インテリアをご利用いただけるように新商品を企画・制作してまいります。

本件に関するお問い合わせ

株式会社TAKESUMI 担当：小松 info@takesumi.co.jp

受付時間 9時～17時 TEL: 03-6228-1389 FAX: 03-6745-8977

「知りたい! SDGs より引用

森林などの自然は放置すると地球や人間、様々な生物に害を及ぼしてしまう。放置された人工林は、過密で林内が暗くなり、他の植物が育たなくなることで生物が減少。さらに、竹林の放置による「竹害」も、今日本の至る里山で問題になっている。現状、竹資源の消費量が少ないことからビジネス化が進んでいないため、問題解決が難しい。

この問題を解決するため、竹炭を使ってインテリアを製造し、竹害を減らす活動を行っているインテリア事業を行う会社、「株式会社 TAKESUMI」を取材。「竹害」から日本の里山を守るため、竹炭を使った魅力的な商品を開発し、市場価格を確保。そして、現場で竹林を伐採する一般事業者や炭焼き職人等に対して、対価を支払うというビジネスモデルを構築。例えば、竹炭の持つ消臭や調湿効果などにデザイン性を取り入れた贈答品用の「祝い竹炭」や家庭やオフィスに置く「飾り竹炭」などの商品を販売している。

SDGs って何? どうして必要なの?

これから先の未来… 自分たちの青い地球はどうなっていくんだろう…

今、世界では温暖化、貧困、格差社会… 様々な地球規模の課題がある。

そこで、国連加盟国すべての国が 2030 年までに普遍的に取り組む“持続可能な開発目標”を定めた。

それが「SDGs」。しかし、日本での認知度は 16%とまだまだ低く、お茶の間や若者には馴染みがない…

「SDGs」を子供や若者、高齢の方にもわかるよう、番組ナビゲーターの曾田麻衣子が SDGs の全体コンセプトや、SDGs の各目標をひとつひとつわかりやすく解説! また、目標の解決に取り組んでいる事例も紹介していく。